



読書効果の科学 読書の“穏やかな”力を活かす3原則

● A5判並製 288頁 定価：本体 3000円＋税 ISBN 978-4-8140-0560-4 C1037

さまざまな情報メディアが溢れる現代、本の存在意義は何なのか？読書が有益に働くとされる言葉・人格・精神的／身体的健康・学力・仕事の6要素について、その効果を科学的に評価。そこに確かに存在するが決して万能ではなく時として弊害も伴う「読書の力」をありのままに描き出す。読書の力をうまく利用するための3つの原則も提案。本を読む人、読まされる人、読ませなければならない人、すべてに送る処方箋。



【目次】

はじめに——読書は社会にとって必要か？

本書のコンセプト——読書消滅の危機と生き残り策

本書の構成と6つの読書効果

そして読書効果をうまく利用するための3原則

第I部 読書の力を正しく知るために

第1章 読書研究を見る目を養う

第2章 誰がどれくらい読んでいるのか

第II部 読書効果についての科学的研究知見

第3章 読書は言語力を伸ばすか

第4章 読書は人格を高めるか

第5章 読書は心身の健康に寄与するか

第6章 読書は学力を高めて収入も伸ばすか

第III部 読書とうまく付き合うために

第7章 読書の行動遺伝学

第8章 読書効果をうまく利用するために

おわりに——読書の“穏やかな”力を享受していくために

読書効果の本質とは

読書の未来予想——読書だけが持つ魅力とは

引用文献

【著者プロフィール】

猪原敬介 (Keisuke Inohara)

北里大学 一般教育部 専任講師

博士(教育学) (京都大学)



読書と言語能力：言葉の「用法」がもたらす学習効果

読書と言語能力の関係について国内外の最新知見を紹介するとともに、読書が言語能力を向上させるしくみとして「用法に基づく学習」過程を明らかにする。言語教育への新たな視点を提供する一冊。

A5判上製 306頁
定価：本体 3600円＋税
ISBN 978-4-8140-0012-8
C3337

注文書

お申し込みは → 京都大学学術出版会 FAX：075-761-6190

番 線 印	冊	新刊 委託 指定	京都大学学術出版会 発行／発売 読書効果の科学 読書の“穏やかな”力を活かす3原則 【9/20 締切】 ISBN 978-4-8140-0560-4 C1037 定価：本体 3000円＋税	10月新刊
	ご担当 様			
番 線 印	冊	注文 扱返 条付	京都大学学術出版会 発行／発売 読書と言語能力 言葉の「用法」がもたらす学習効果 【随時】 ISBN 978-4-8140-0012-8 C3337 定価：本体 3600円＋税	好評既刊
	ご担当 様			